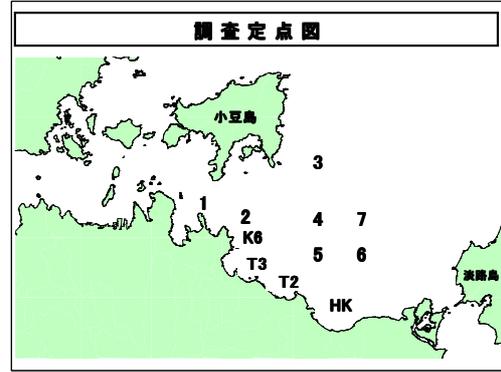


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2012. 10)

香川県水産試験場 益井
TEL: 087-843-6511

調査日: 10月2日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

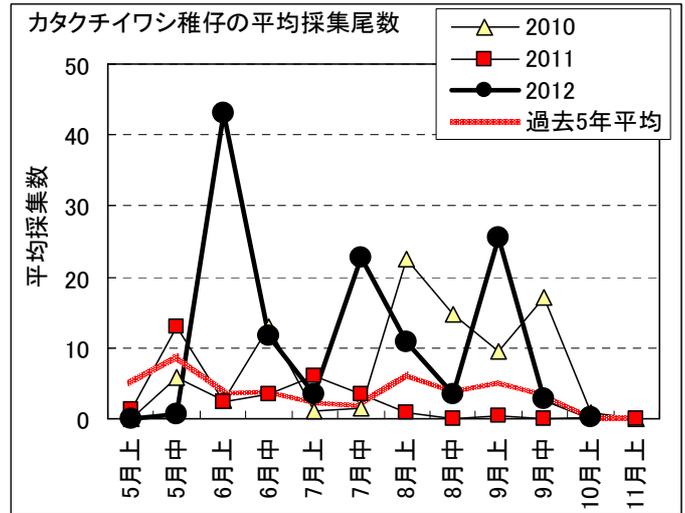
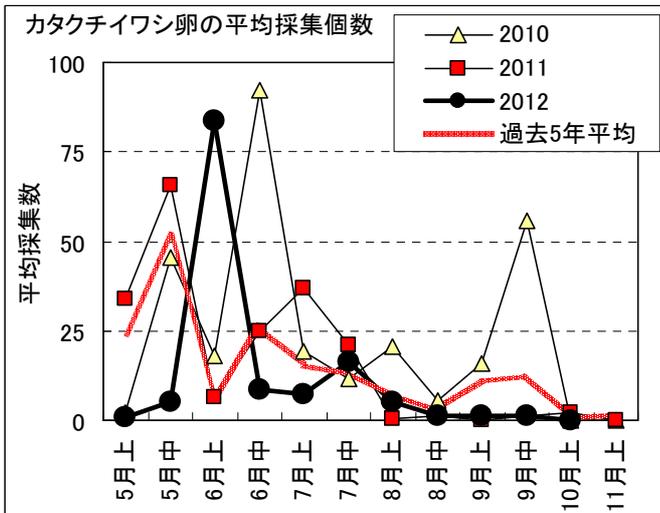


【カタクチ卵】 定点別出現数

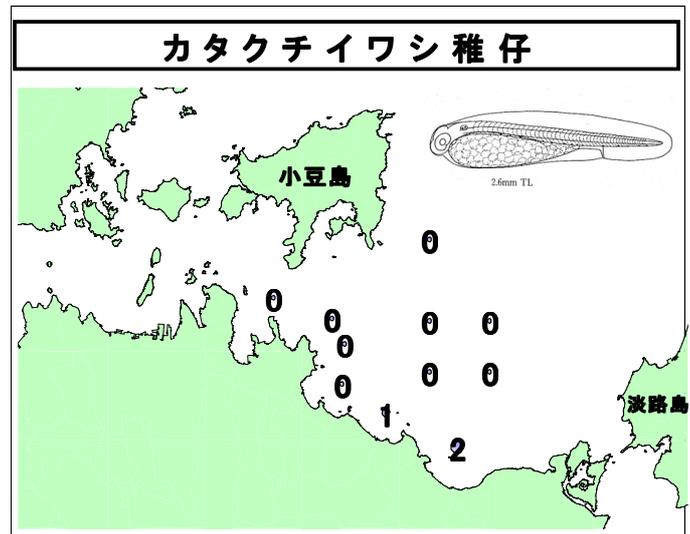
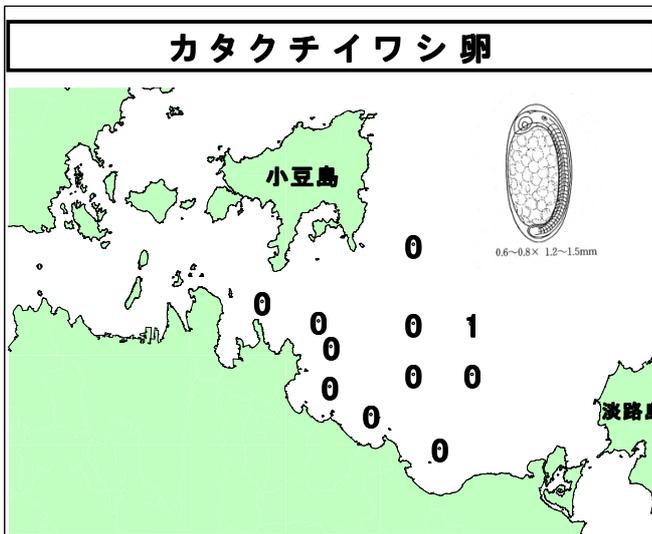
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2010.10.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2011.10.5	0	0	0	0	3	0	0	19	0	0	0	2.0
2012.10.2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.1

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2010.10.5	0	3	1	1	0	1	3	0	0	0	0	0.8
2011.10.5	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0.3
2012.10.2	0	2	1	0	0	0.3						



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



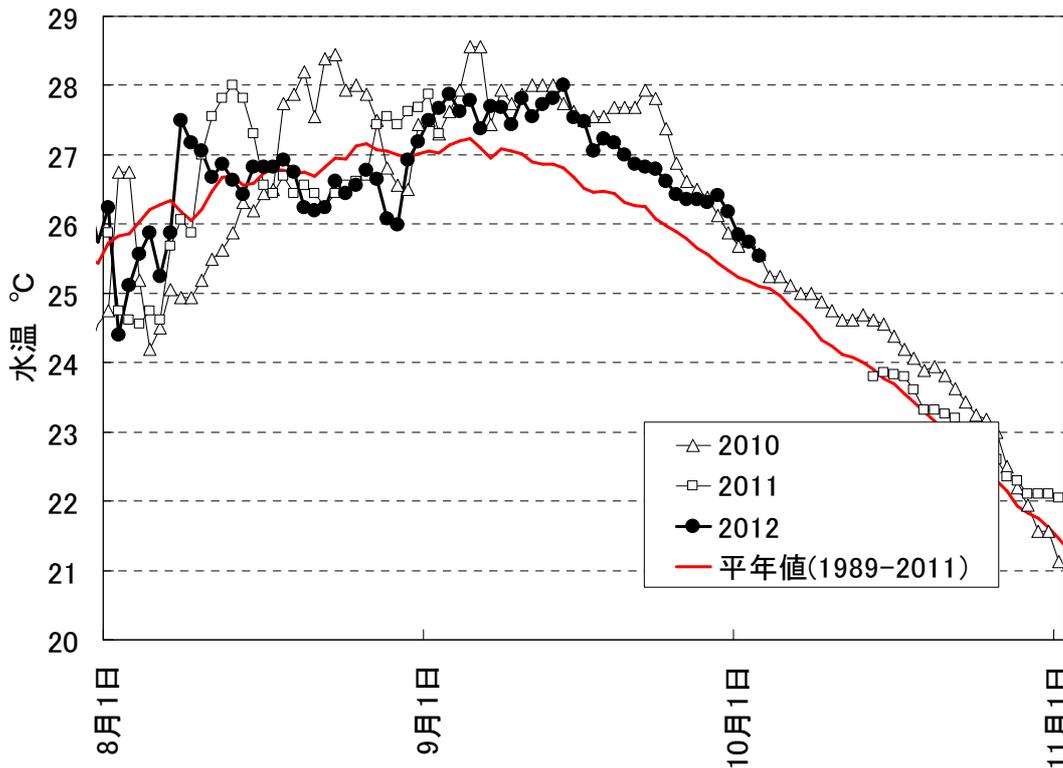
播磨灘11定点における卵の平均出現数は0.1個、稚仔の平均出現数は0.3尾で前年及び平年の同時期とほぼ同水準であった。

餌料生物として重要なかいあし類の11点平均値は 0.36mL/曳網で前回(9月18日)の23%と減少した。ほとんどの調査点で大型珪藻のコシノディスカスが優占した。

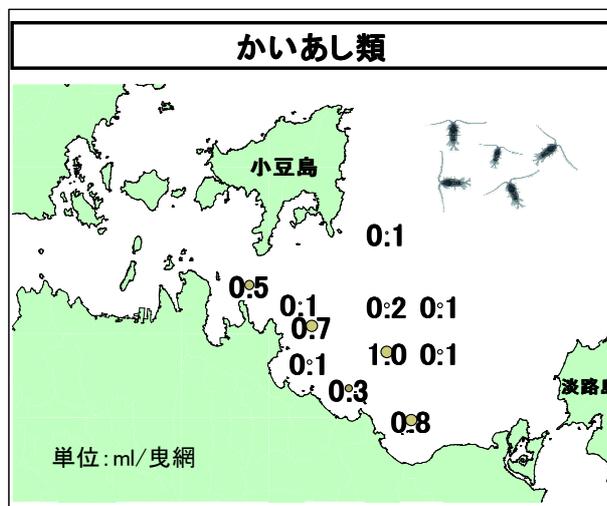
引田沖の水温は、9月以降平年より高めで推移している。

【参考】

引田沖水温バイデータ(午前9時, 1.5m層)



* 2011年は水温バイの故障により、9/7~10/13のデータがありません。



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は、11月2日に浅海定線調査に合わせて実施予定です。